



徳成寺

寺ともかわら版

第181号 2022年1月



明けましておめでとうございます。住職の大山です。

2022年を迎え、寺ともかわら版も15周年になりました。

当初15年も続くとは思いませんでしたが、皆さんに支えられ

おかげ様で、様々なご縁に恵まれました。本当に有難うございます。

親鸞さんが若き日に修行した比叡山を開いた伝教大師・最澄の言葉に

「一隅を照らす」という言葉があります。世の中の片隅にスポットライト

を当てると言った意味合いの言葉です。仏様の光が普く照らすのとは対照的に、

ほんの片隅を照らす。これが人の使命であると教えているのです。私達は大きな

ことはできません。また大きなことを成したと言っても、仏様に比べれば、

ほんのわずかなことしか成し得ないという意味もあります。驕らず卑下せず

黙々と「一隅を照らし」続ける寺ともかわら版であり、徳成寺でありたいと

心新たに出発して参ります。今年もよろしくお祈りいたします。

-発行責任者-

住職

大山健児

坊守

大山ひとひ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。1月は皆さん新年の目標を立てる月になるかと思えます。英国のかつての首相スタンリー・ボールドウィンの「何事も始めるのに遅いという事はない」と言う名言にのっとり、私は手帳を購入しました。手帳を使いこなせたらどんなにかっこいだろうと思ひ、今まで何度もおしゃれな手帳を購入しては、やがて面倒くさくなって4月以降のページから大体白紙になっていました。挫折を乗り越えるため、今年はシンプルな手帳を購入しました。コクヨから販売されている測量野帳です。立っいても書けるカチカチの背表紙と薄さがポイントです。予定を書いて、しっかり振り返って紙面のネタに困らない余裕のある2022年にしたいです。写真は購入した手帳と報恩講の時に門徒さんから頂いた父母ヶ浜カレンダーです。太陽輝く鮮やかな海と空がとっても素敵です。皆さんの2022年も爽やかな年になることをお祈りしています。

